

2023年 市民自然環境調査

みぢかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ツバメ）



上 泉 町

目 次

- | | |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |

令和5年10月
前橋市 環境部 環境政策課

1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、平成16年から、次世代を担う子ども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にツバメの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

(2) 調査の概要

テーマ	指標生物	調査内容	調査期間
ツバメの調査	ツバメ、イワツバメ	初見日、抱卵確認日、巣立ち	3月13日（月）～8月25日（金）

3 調査の結果

- ・調査隊員数： 23名
- ・調査地点数： 41地点
- ・確認種類（件数）：ツバメ（32件）、イワツバメ（5件）、不明及び無回答（4件）
- ・調査隊員の中で最も早い初見日の観測データ：3月19日

〈参考〉みちかな季節かんじ隊調査と前橋地方气象台で確認されたツバメの初認日

観測	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
みちかな季節 ※1	3月21日	3月26日	3月26日	3月23日	3月25日	3月14日	3月19日	3月11日	3月19日
前橋地方气象台 ※2	4月10日	4月13日	4月17日	4月10日	4月3日	3月26日	-	-	-

※1 前橋市市内における最も早い初見日を掲載

※2 気象庁生物季節観測は令和2年度末で廃止のため、令和3年度以降は未記載

〈参考〉令和5年日本野鳥の会群馬のツバメ初認情報 ※3

観測	市内	市外
ツバメ	3月21日（下大島町）	3月12日（伊勢崎市）
イワツバメ	3月11日（幸塚町～三俣町）	3月8日（伊勢崎市）

※3 日本野鳥の会群馬HPより抜粋

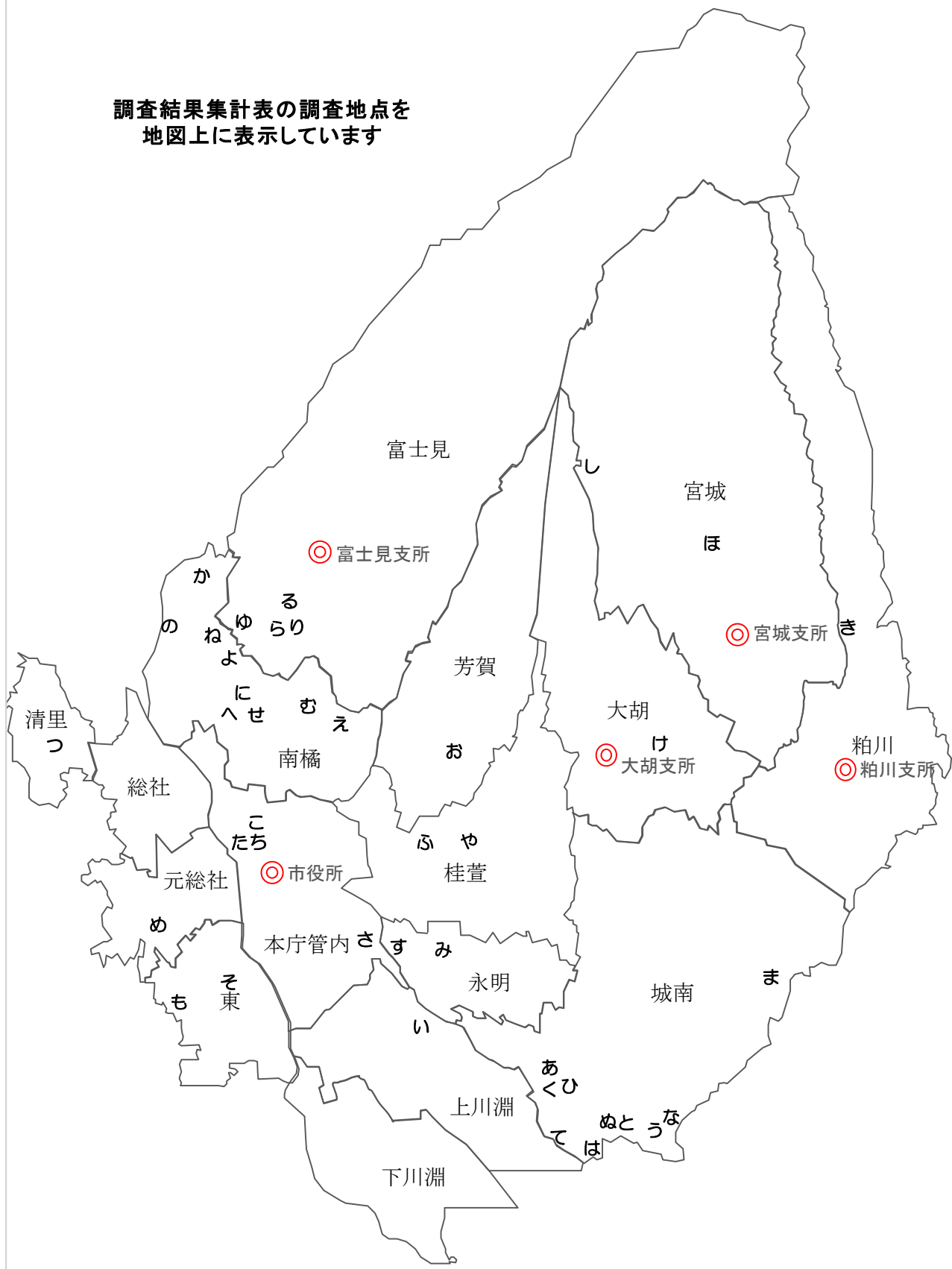


4 調査データ

調査結果集計表												
番号			調査場所				ツバメの種類	観察日				
1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
No.	隊員番号	調査地点	町名	名称 (地点名)	建物の種類	(その他)	ツバメの種類	初見日	1回目 抱卵確認日	1回目 巣立ち	2回目 抱卵確認日	2回目 巣立ち
1	1	あ	小屋原町	介護老人保健施設	集合住宅	-	ツバメ	4月11日	-	-	-	-
2	2	い	朝倉町	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月31日	-	-	-	-
3	3	う	下増田町	住宅街の畑沿い	-	-	ツバメ	4月2日	-	6月21日	-	-
4	4	え	上細井町	上武道路側道	その他	上武道路の南側道	ツバメ	5月6日	-	-	-	-
5	5	お	鳥取町	自宅前田んぼ	-	-	ツバメ	4月29日	-	-	-	-
6	6	か	田口町	自宅、一階駐車場	戸建て住宅	-	ツバメ	3月22日	-	-	-	-
7	7	き	粕川町室沢	自宅の軒先と洗濯竿	戸建て住宅	-	ツバメ	4月21日	-	-	-	-
8	1	く	小屋原町	介護老人保健施設	集合住宅	-	-	4月10日	-	-	-	-
9	8	け	大胡町	自宅	戸建て住宅	-	イワツバメ	3月25日	4月7日	5月31日	6月5日	7月15日
10	9	こ	昭和町二丁目	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月27日	4月29日	6月4日	6月20日	7月26日
11	10	さ	文京町三丁目	自宅近く	戸建て住宅	-	ツバメ	6月8日	-	-	-	-
12	11	し	柏倉町	自宅(離れ2階)	戸建て住宅	-	ツバメ	4月28日	5月12日	6月14日	7月2日	8月4日
13	12	す	天川大島町三丁目	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	4月20日	5月6日	6月14日	6月30日	8月2日
14	13	せ	青柳町	アパート	集合住宅	-	ツバメ	3月19日	4月27日	6月5日	7月4日	7月24日
15	14	そ	小相木町	-	集合住宅	-	ツバメ	4月9日	-	-	-	-
16	15	た	岩神町	自宅南側シャッターボックス(真ん中の巣)	戸建て住宅	-	ツバメ	4月21日	-	-	-	-
17	15	ち	岩神町	自宅南側シャッターボックス(西側の巣)	戸建て住宅	-	ツバメ	4月9日	-	6月12日	-	7月28日
18	16	つ	青梨子町	有料老人ホームヴィラ清里	その他	有料老人ホーム	ツバメ	7月12日	-	-	-	-
19	17	て	駒形町	菰川(橋)	川沿い	-	イワツバメ	4月2日	-	-	-	-
20	17	と	下増田町	自宅近辺	その他	自宅の上空や周りの畑上	ツバメ	4月7日	-	-	-	-
21	17	な	下増田町	グランドゴルフ場上空	その他	グランド広場	ツバメ	4月9日	-	-	-	-
22	17	に	荒牧町	桃ノ木川遊歩道川面周りの畑	川沿い	-	ツバメ	4月13日	-	-	-	-
23	17	ぬ	下増田町 駒形町	桃ノ木川(広瀬川)新湊水橋の下部	川沿い	-	不明	4月16日	-	-	-	-
24	17	ね	田口町、関根町、川端町	細ヶ沢川(桃ノ木川支流)	川沿い	-	ツバメ	4月17日	-	-	-	-
25	17	の	田口町 関根町	上武国道新坂東橋東側桃ノ木川	川沿い	-	ツバメ	4月27日	-	-	-	-
26	17	は	駒形町	駒形郵便局	その他	簡易郵便局	ツバメ	4月28日	5月6日	6月7日	-	-
27	17	ひ	小屋原町 駒形町	小屋原第二陸橋付近前橋館林線、高崎駒形線	その他	道路沿い	イワツバメ	5月3日	-	-	-	-
28	17	ふ	上泉町	桂萱中学校	学校・公共施設	-	ツバメ	5月20日	-	-	-	-
29	17	へ	荒牧町一丁目	セリア生活良品前橋店	戸建て商店	-	ツバメ	6月4日	5月23日	6月15日	-	-
30	17	ほ	柏倉町	あかぎおろし(観光農園)	戸建て商店	-	ツバメ	6月9日	-	6月8日	-	-
31	17	ま	東大室町	天雷橋東(信号)50号商エリア空地	川沿い	-	不明	8月18日	-	-	-	-
32	17	み	天川大島町	野菜と米の直売所「なないろマルシェ」	戸建て商店	-	ツバメ	4月10日	5月18日	6月20日	-	-
33	18	む	龍蔵寺町	赤城白川が観音川と合流する少し上流の人だけ通れる橋の下	川沿い	-	イワツバメ	4月1日	4月25日	6月4日	6月19日	7月25日
34	19	め	元総社町	自宅	戸建て住宅	-	-	4月14日	-	-	-	-
35	20	も	江田町	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月28日	6月7日	7月12日	-	-
36	21	や	上泉町	三嶋屋酒店	戸建て商店	-	ツバメ	4月12日	-	-	-	-
37	22	ゆ	富士見町原之郷	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月27日	-	-	-	-
38	22	よ	川端町	住宅	戸建て住宅	-	ツバメ	-	5月8日	6月11日	-	-
39	22	ら	富士見町原之郷	住宅の作業場	その他	鉄筋の作業場	ツバメ	-	5月10日	-	6月20日	7月25日
40	22	り	富士見町原之郷	住宅	戸建て住宅	-	ツバメ	-	5月10日	6月9日	6月末	7月31日
41	22	る	関根町	細ヶ沢川橋	その他	細ヶ沢川にかかる橋	イワツバメ	3月28日	-	-	-	-
42	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を
地図上に表示しています



6 参加者の声と写真（一部抜粋）

- ・隣の家が昨年工事をして、今年来てくれるか心配だったが、やってきてくれて安心した（隊員番号2）



う 駒形町

ツバメの滑空は例年通りかと思いましたが、飛来数が少なめのように感じられます。毎朝の散歩中に電線上に四羽が並び、巣立ちの確認できました。（隊員番号3）

- ・とても天気が良かったので庭で花の手入れをしていた所、まだ幼い感じの2羽のつばめが鳴きながら飛んできました。1羽は玄関先や軒先を飛び回り、もう1羽は洗濯竿に止まってこちらを見ていました。しばらく我が家の周りを飛び回っていましたがいつの間にかいなくなっていました。初めての光景にとても微笑ましかったです。（隊員番号7）

20年近く毎年巣作り巣立ちを楽しませてくれたつばめさんが今年は2度の巣立ち、3ヵ月強、毎日つばめの話題で楽しみました。1回目の巣立ちは大勢の仲間と共に4～5日我が家の周りを乱飛しておなじみの別れでしたが、2回目は少し周りが賑やかだと思っている内、改めて別れの挨拶もなく巣立ったようです。2度目のつばめは3羽でした。こういう事もありと違った形の巣立ちを勉強しました。来年の春を楽しみに待っています。（隊員番号8）



け 大胡町

- ・1回目 6月11日に4羽巣立つ。
2回目 6月23日、同じ玄関の別の場所に巣を作り始めたが、途中で放棄し、やってこなくなった。6月末頃、スズメが巣に頻繁にやってきて、枯れ草を多量に運び込んでいたのが見られた。理解不能の行動。ツバメの敵はカラスと言われるが私の観察でもスズメも強敵である。（隊員番号22）

・毎年ツバメが営巣しています。今年はいつもの年より早く3月27日に来ました。また、1回目の営巣が無事終わり、数日後にすぐ向かい側に新しい巣を作り始めました。多分同じ夫婦だと思います。(隊員番号9)

・ツバメが巣作りしてから6年くらいになります。ここ2～3年、2か所、昨年巣立ったツバメ達なのか分かりませんが、来ています。(隊員番号11)



我が家では、毎年度の恒例行事になる程、楽しみにしております。毎年、無事に巣立つまで暖かく見守るしかできないのですが、今年も無事巣立つまで育ててくれて良かったです。また、来年戻ってくるのを楽しみにしています。(隊員番号12)



す 天川大島町

・今年で4年連続で来ています。巣が2つありどちらにもツバメが住み6羽の子どもを育てています。毎年、この時期になるとツバメが来るのがとても楽しみにしています。(隊員番号13)

・ツバメの巣は確認できませんでしたが、当施設の中庭でツバメの家族が飛行練習をしています。現在も中庭を飛び回っています。(隊員番号16)

・水田地帯にある我が家では、ツバメをよく見かけるのですが、その巣は近所でも見られませんでした。ところが今年発見することができました。巣は近くの「赤城白川」にかかる橋の裏にありました。ウォーキングの途中橋の下に消えたり出てきたりするツバメにつられて川底に降りた時に見つけました。二つもです。大雨が降ったあとは石垣から体をくねらせて時にはそっと双眼鏡で観察することがウォーキングの楽しみになりました。(隊員番号18)

・カラスやセキレイ、スズメに混じってひときわすばやい飛び方が目についた。(隊員番号17)



2020年ツバメが我が家の南側シャッターの所に巣作りをし、1回目6羽、2回目4羽の計10羽のヒナが誕生し、巣立ちました。

「ツバメが巣作りをすると幸福をもたらす」と聞いたのでとても喜びました。

以来、毎年飛来するようになったので「ツバメ日記」を記し、ツバメの動向を楽しみながら毎日ながめております。(隊員番号15)



ち 岩神町

・桜の花びらが菰川の水面をうめつくして下流へどんと流れてゆく様子に見入っていたら二羽のツバメが水面すれすれをとびかっています。春の到来を告げた桜の開花。この陽気をさそう南風によって今年もやってきた様に感激した。(隊員番号17)

・初見日から6月中旬頃まで自宅周辺を回っていたが、その後、見掛けません。初見日がR3は4/3、R4は4/10、R5は4/14と年々遅くなっている。(隊員番号19)

今年は来ないかもと思っていたら、遅れて来てくれました。1回だけの子育てでした。
6/7 自宅のつばめの古巣にて抱卵している様子。
6/22 雨。連日暑かったのにこの日は気温が下がり寒い日。冷たい雨の日に卵の殻が植木に落ちていました。卵が孵化したことをお知らせしてくれました。
7/12 酷暑の中、親鳥もヒナも頑張り4羽のヒナが巣立ちました！

去年は産まれた卵たちが孵化せず悲しい結果でしたが、今年はなんとか命が誕生し無事巣立っていってくれて安堵しました。元気でね～！と子ども達とエールを送りました。(隊員番号20)



も 江田町



7 参考資料

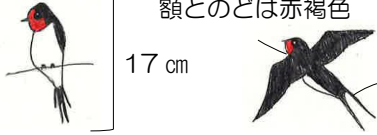

ツバメの特徴

ツバメは、春の訪れとともに日本にやってくる夏鳥です。巣作りも子育ても雌雄が協力して行います。夏の終わりころ南の国への渡去準備のため群れになります。

ツバメが好む住環境

ツバメのえさとなる虫がいる田んぼや川等水辺が近くにある場所

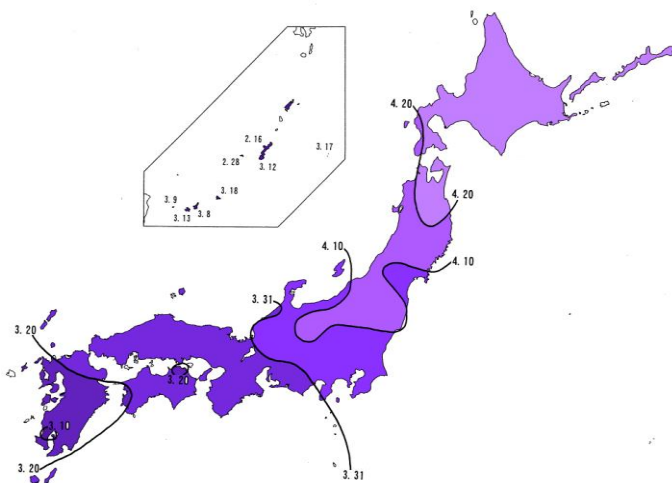
ツバメ・イワツバメの違い

	ツバメ	イワツバメ
見分け方	 <p>額とのどは赤褐色 17 cm 尾は細長い</p>	 <p>14~15 cm 腰は白色 尾は短い</p>
巣作り場所	商店や住宅の軒下に巣を作る	山や海岸の崖、ビルや橋などに集団で巣を作る
分布	北海道から九州、種子島 (北海道では道南にほぼ限られる)	北海道から九州 (西日本では局地的で少ない)

イラスト：担当者

ツバメの初見日の等期日線図

(1981~2010年 平年値)



ツバメの初見は、3月上旬から九州地方南部で始まります。3月20日に九州地方、四国地方に達し、3月31日に中国地方、近畿地方、北陸地方、中部地方を結ぶ地域、4月10日に東海地方、関東甲信地方、東北地方南部を結ぶ地域、その後、東北地方北部を北上し4月下旬に北海道地方に達します。

〈気象庁HP「生物季節観測」引用〉

8 事務局より

今年は、23名の隊員の皆様から41地点のご報告をいただきました。隊員の皆様には初見日から巣立ちまで、長期にわたりご協力をいただき誠にありがとうございました。

近年、ツバメを見かける機会が減ったと言われていますが、隊員の方々の報告から、前橋市で育つ元気なツバメたちの様子を伺えて喜ばしい気持ちになりました。

前橋市を飛び立ったツバメの無事を祈り、来年もまたツバメたちが帰って来られるように、ツバメと共存できる環境づくりをしていきましょう。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として4つ目の宣言文となります。